



日頃より相双域内の社会教育の発展にご協力をいただき、心から感謝申し上げます。今後も、地域・学校・行政が一体となって相双域内の教育力の向上を図るための様々な事業を展開し、相双域内の社会教育のさらなる発展を目指していききたいと思っておりますので、情報提供等、御協力のほどよろしくお願いたします。

## 家庭教育支援者 地区研修会 (相双)

家庭教育について学ぶ機会が充実するよう支援するとともに、地域で子育てをする家庭教育支援者の実践力を高めるため、今年度は、「今こそ、コミュニケーションの大切さ」というテーマのもと、お二人の講師をお招きし、コロナ禍の中、思うようにいかない子どもとの関わりについて考え、即実践につながるような内容での研修会を開催しました。

**【講義・演習】「子育てに生かすアンガーマネジメント」**  
日本アンガーマネジメント協会アンガーマネジメントファシリテーター  
特定非営利活動法人きぼう 副理事長 新妻 直恵氏

- 「子育てに生かすアンガーマネジメント」の講義・演習においては、怒りの性質（メカニズム）や怒らず伝えるテクニック、今すぐできる即効技など、子どもとの関わり方について具体的な場面をあげたご講義をいただき、研修者からももっとくわしく知りたい、同様の講義を再度実施してほしいなどの声が聞かれ、詳しい資料の依頼や町での講座の依頼など、研修の成果の広がりが見られました。



### 参加者の感想から

- ☆ 今回の講義・演習を参考にして、子ども自身の感情のコントロール、親としての私の感情コントロールを上手に行っていこうと思います。
- ☆ アンガーマネジメントでは、怒りについて上手にコントロールできるものだと知り、とても勉強になりました。
- ☆ アンガーマネジメント講座は今回で2回目です。「怒り」はコントロールがとても難しく自分の怒りのコントロールもそうですが、「キレやすい大人」とのつきあい方も日々悩むところです。1年に1回は講義を受けて、くり返し学びたいと思っておりますので、市内でまたくり返し講座をしていただけたらうれしく思います。よろしくお願いいたします。
- ☆ 対象者の範囲が広くお話しされる内容を考えるのに大変だったと思いますが、支援者として、家庭人として様々な立場、視点で役立てることができると感じました。大切な考え方や素敵な言葉をいただいたので、今日から実践していきたいと思っております。

【講義】「コロナ禍の今こそ、読み聞かせの大切さ」  
絵本専門士 JPIC読書アドバイザー  
南相馬市立中央図書館 主任司書 佐藤 真紀氏

- 「コロナ禍の今こそ、読み聞かせの大切さ」の講義においては、アンガーマネジメントと関連した内容や呼吸法に関わる図書の紹介、コロナ禍によるステイホームを意識した本の紹介などに加え、素敵な読み聞かせを披露していただき、本の持つ魅力と読み聞かせのすばらしさを伝えていただくことができました。



### 参加者の感想から

- ☆ 絵本を通して、親子のふれあいが大切ということがとても勉強になりました。つつい忙しくて子どもに読み聞かせをせがまれても断ってしまうことが多かったですが、もう一度考え直す時間になりました。
- ☆ 絵本については、幼児期の子どもには、頻りに読み聞かせをしておりましたが、大きくなるにつれて忘れてしまいがちです。また図書館に足を運び、新しい絵本に出会いたかったです。
- ☆ 読み聞かせをする機会はあまりありませんが、自分の感情を見つけたり、コントロールするために、絵本を活用してみたいと思います。
- ☆ 読み聞かせは、教育現場でも大切なものだと感じています。小学校中・高学年向けの本など、いろいろな本に触れたいと感じました。

### 成果・広がりを含め、実りある研修となりました！

他にも、広がりを感じる感想が・・・

- ☆ 仕事として携わっている部分、資格を生かして仕事以外で携わっている部分で数多くの実践をされている方の話はやはり良いものだと感じました。重み・深みのある言葉は説得させる力があり、講義内容も十分満足できるものでした。学びの機会の提供ありがとうございました。学んだことを周囲に広げていきたいと思っています。
- ☆ 聞いて良かったです。子育てや仕事に役立てられそうなので、私自身も資格がほしいと思いました。また、聞きたくても日程が合わない人もいたので、同じ内容で何度か開いていただければと思います。
- ☆ コロナ禍の中で、大人の私たちもストレスを抱えているのは事実であるが、子どもに関わる仕事の大切さを改めて感じた。その関わり、コミュニケーションの仕方や工夫、仕事や自分に生かしていけたらと思う。久しぶりの研修会、皆さんの頑張ってる姿、私もその一員として勉強になりました。



市内で実際に子どもたちに関わっている方々の講義ということで、研修者の思いや悩みに寄り添った内容であり、即実践につながる内容でした。

家庭教育に関わる研修会は、範囲が広い上、参加者の立場もさまざまであるため、内容決定が難しいものです。今後もアンテナを高くし、子どもに関わる方々のニーズをしっかりと把握し実りある研修を企画していきたいと思っています。

お二人の講師の先生方、参加者の皆様、ありがとうございました。